

## ＜基調講演②＞

「愛知県の資源循環の取組について  
～あいちサーキュラーエコノミー推進プラン～」

愛知県環境局資源循環推進課循環グループ

課長補佐 松山純也氏



令和7年12月19日（金）

令和7年度中部地方資源循環自治体フォーラム

# 愛知県の資源循環の取組について (あいちサーキュラーエコノミー推進プラン)

愛知県 環境局 資源循環推進課 循環グループ  
課長補佐 松山純也

1

## あいちサーキュラーエコノミー推進プラン

### 【社会的課題】

- 資源循環の重要性の増大  
(資源消費量・廃棄物量の増加)
- カーボンニュートラル (CN) 実現  
に向けたサーキュラーエコノミー  
(CE) の取組の重要性
- プラスチックや太陽光パネル等の  
社会課題の顕在化

### 【本県のポテンシャル】

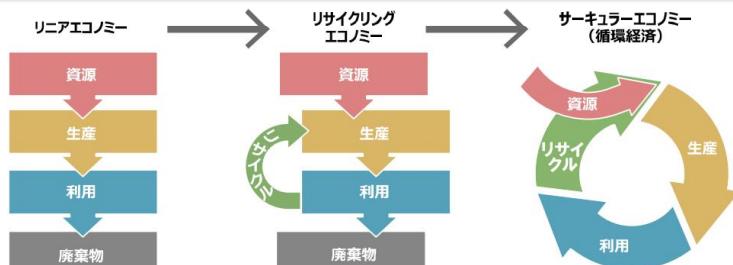
- 全国一の産業集積県

| 産業  | 項目      | 金額      | 順位   |
|-----|---------|---------|------|
| 製造業 | 製造品出荷額等 | 52.4兆円  | 全国1位 |
| 商業  | 年間商品販売額 | 39.4兆円  | 全国3位 |
| 農業  | 農業産出額   | 2,922億円 | 全国8位 |

- 緑豊かな土地条件  
(県土の約42%が森林)



循環ビジネスを中心とした本県の資源循環に関する施策や  
取組を示す計画として2022年3月に策定（10年計画）



# プランに基づく施策と主な取組

## 施策1 CE推進モデルの展開

- CE推進モデルの創設
- プロジェクトチーム(PT)の設立
- バリューチェーンなど  
事業者連携による取組を支援



## 施策2 循環ビジネスの振興支援

- 循環ビジネス創出コーディネーターによる総合的支援
- 循環型社会形成推進事業費補助金による設備導入や  
事業化検討の支援
- 展示会を通じた循環  
ビジネスの普及展開支援、愛知環境賞の表彰



## 施策3 人材育成・情報発信

- あいち環境塾によるリーダー育成
- CEスタートイグブック、あいち資源循環ナビ、  
あいち資源循環センター  
展示コーナーによる普及啓発



## 施策4 多様な主体との連携

- マッチング支援による事業者連携の促進
- CE型ビジネス創出研究会の開催



「あいち資源循環推進センター」を拠点として、4つの施策と主な取組を進める

3

## 施策2 循環ビジネスの振興支援 ～あいち資源循環推進センターについて～

- 2006年に総合的な循環ビジネスの支援拠点として設置（県庁西庁舎7階）

循環ビジネスの  
発掘・創出  
〔相談・技術指導〕

循環ビジネスの  
事業化支援  
〔循環型社会形成推進補助金〕

事業継続  
普及展開支援  
展示会を通じた循環  
ビジネス普及展開支援

- 補助金、表彰制度、情報発信等による総合的な支援



循環ビジネス創出コーディネーター  
による事業者相談



愛知環境賞による優れた技術・事業  
の表彰や県庁展示コーナーでの紹介



展示会（メッセナゴヤ）等での  
情報発信、普及展開支援

循環ビジネスの発掘～事業開始～事業の継続まで一貫した支援

4

# 施策1 CE推進モデルの展開 ～モデルの創設～

本県の地域特性や産業のポテンシャルを生かし、プラスチックや太陽光パネルなど、社会課題を解決する6つのリーディングモデルを創設

1. プラスチック
2. 太陽光パネル
3. 繊維・衣類
4. リペア・リビルド
5. 食品
6. 未利用木材

県内産廃の廃プラスチックの循環利用率は81%であり、内訳はマテリアル利用37%、ケミカル利用2%、サーマル利用42%（2020年度調査）

再生可能エネルギーの固定価格買取制度では2019年9月末までの導入容量が全国3位、うち住宅用太陽光発電は全国1位。



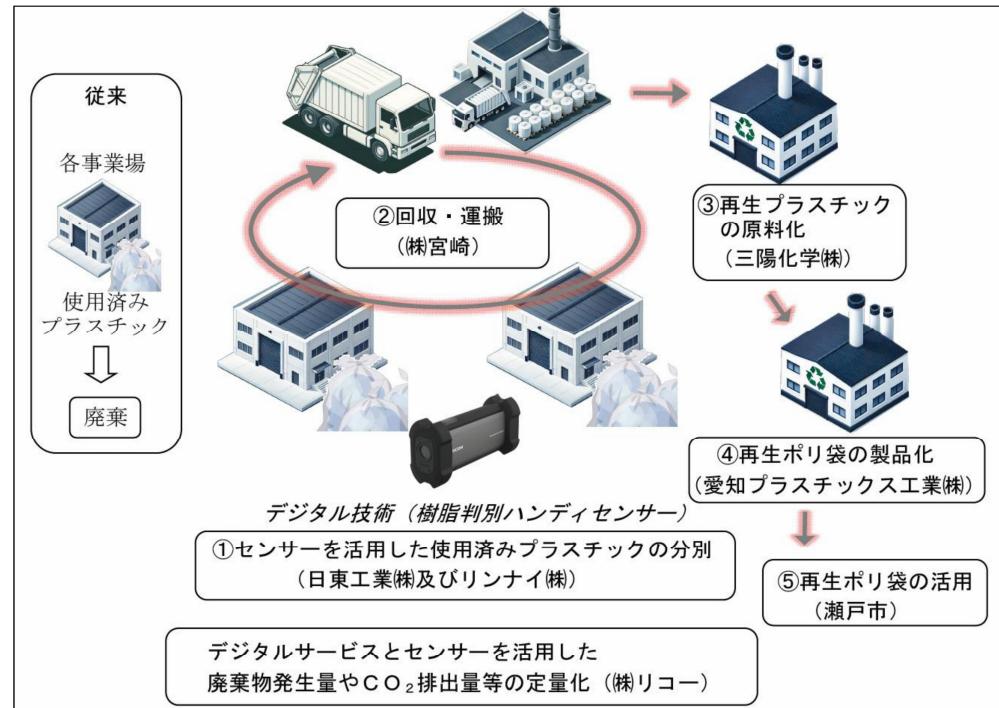
## あいちCE推進プロジェクトチーム

推進モデルの具体化のため、動脈・静脈の事業者、有識者、行政からなるプロジェクトチーム（PT）を2023年1月に設立し、計画の中間にあたる5年を目処に事業化を目指す

|                           |                                |     |
|---------------------------|--------------------------------|-----|
| PT①<br>(プラスチック循環利用)       | リサイクルが困難な混合プラスチック等の再生原料化の促進    | 21社 |
| PT②<br>(バイオマス・プラスチック循環利用) | 地域バイオマスを活用したバイオマスプラスチック製品の普及拡大 | 14社 |
| PT③<br>(太陽光パネル循環利用)       | 使用済み太陽光パネルの効率的なリユース、リサイクル体制の構築 | 15社 |
| PT④<br>(繊維・衣類循環利用)        | 使用済み繊維製品を付加価値のある製品として再生        | 12社 |
| PT⑤<br>(リペア・リビルド普及)       | 設備や部品の長寿命化につながるリペア・リビルドの仕組みづくり | 10社 |
| PT⑥<br>(食品循環利用)           | 事業系食品ロスを主テーマとしたPTを設立予定         |     |
| PT⑦<br>(未利用木材循環利用)        | 森林資源や木質廃棄物を有効利用する木材ビジネスの創出・拡大  | 14社 |



## 取組事例 PT① 瀬戸市内でのプラ循環の実証実験



樹脂判別ハンディセンサー

分別対象のプラスチックに近赤外線を直接照射することにより、ポリエチレンやポリプロピレンなどの13種類の樹脂に判別。



判別の様子

①～④は環境省の補助事業（令和6年度脱炭素型循環経済システム構築促進事業）の一環として実施。

地域のプラスチック資源の効率的な分別・回収・運搬を図り、次年度の事業化を目指す

7

## 取組事例 PT③ 太陽光パネルのリユース・リサイクルの周知

あいちサーキュラーエコノミー(CE)推進プロジェクト  
太陽光パネル循環利用プロジェクト  
(PT3)チームサイト

太陽光パネルの循環利用の推進、研究開発、将来的な大量廃棄に向け、産学官と連携しながら  
太陽光パネル(PV)リユース・リサイクルを進み循環型社会の構築に貢献します。

太陽光パネルリユース・リサイクルの必要性について  
The need for solar panel reuse and recycling

予測される大量廃棄への対応

2000年代に普及が加速した太陽光パネルは、その一般的な寿命である25～30年の経過後やFIT期間満了後に、大量に廃棄されることが予測されています。

環境省の推計では、排出量のピークが、2042年に約46.6万トンになると予測されています。

全国の導入量のうち愛知県の割合は4.35%（※）であり、2042年の県内の排出量は最大1.9万トンになると予測されます。

※2025年8月現在

太陽光パネルの推計・実態  
Solar panel estimates and actual situation

太陽光パネルリサイクルの実態  
(県内排出の統計資料)

| 2022年 | 2023年 | 2024年 |
|-------|-------|-------|
| 46t   | 74t   | 156t  |

※愛知県内の年間の太陽光パネル排出量(産業廃棄物管理票(ミニフェスト)から算出)  
※PT3所属リサイクラーの合計値 小数点以下四捨五入

【参考】愛知県内のPT3所属リサイクラーの処理能力

- ・愛知海運株式会社 : 9,469 t /日
- ・加山興業株式会社 : 12,224 t /日
- ・トーエイ株式会社 : t /日 (令和8年2月稼働)
- ・リサイクルテック・ジャパン(株) : 32.13 t /日

現在年間約1万6千t分の処理能力があります(300日稼働として)

Webページを活用した情報発信により、太陽光パネルのリユース・リサイクル率を高めていく

8

# 最後に 今年度のPT会議の様子（あいち産業科学技術総合センター）

産業技術センター



尾張繊維技術センター



中部地方の事業者、自治体、教育・研究機関をはじめとした  
様々な主体との連携を更に進めてまいります！







Plastics  
Smart